回覧

「石神台ガーディアン」2020年3月報告

2020（令和2年）年3月22日
石神台ガーディアン代表　中野靖久
編集者　小野修司

1） 団員数

昼間合同巡回実施者：	２８名
夜間合同巡回実施者：	２３名
青パト巡回実施者：（同乗者を含む）	３名
以上のどれかの巡回をしている人数：	５１名

個人的に巡回している方70名を加えると、トータル121名です。
やはり夜巡団員が少なくなっています。　　団員募集中！！

2） 2月16日～3月15日の巡回実施状況（今月は夜巡回は２月の５日間の実績）

✓　合同歩行パトロール （自分の住む丁目を中心に実施）

	昼		夜	
	実施日数	延べ参加者	実施日数	延べ参加者
１丁目	４日	３５名	５ 日	１９名
２丁目	７日	５７名		２１名
３丁目	６日	１５名		１４名
全体	１７日	１０７名		５４名

※「新型コロナウィルス」感染症の蔓延により公民館が使えなくなったため、夜巡回は3月6日よりガーディアン全体としては中止とし、各丁目の団員の自主性と自己責任のもとに、巡回とします。
1丁目、3月末まで巡回は中止、2丁目は有志のみで中央公園から中央公園で巡回し、3丁目はやはり有志で南公園から南公園で巡回します。何かあったら中野代表に報告することとします。従って取りあえず3月中は巡回件数、人数、ステッカーの有無等数字の報告はしないこととしました。 尚、昼巡回については、公民館に集まることがないので、従来通りの巡回を行うという事です。

青色回転灯装着車によるパトロール　（石神台内を現在は3台の登録車で随時実施）
３月度：実施車両数：３台　実施回数：１５回
延べ走行時間：１０時間０５分　　走行距離：９９．５km

3） 不審車両と区別するステッカーの表示について

	調査した夜間日間			
	路上駐車台数	ｽﾃｯｶｰ有数	ｽﾃｯｶｰ有比率	９０％を目標にしていますので住民の皆様に更にご協力をお願いいたします。
１丁目	台	台	％	
２丁目	台	台	％	
３丁目	台	台	％	
全体	台	台	％	

上記のような理由により、今月はチェックをしておりません。
数字の報告はしませんが、お互いにルールを守って素晴らしい石神台にしましょう。

4） ガーディアンの気持ち…『招かざる客！　新型コロナウィルス感染症！』

３月６日夜、それは3月に入って2回目の夜巡回の日でした。本日より公民館の使用が禁止されガーディアンの巡回道具（拍子木、懐中電灯、赤色灯棒など）が出せなくなり、また巡回後に集まって、その日の状況報告なども出来なくなりました。従って中野代表や巡回の為に集まった団員と話し合い、結論として、公式には今月いっぱい巡回を止めることになりました。但し、公民館に集まらずに、各丁目の判断で、自己責任に於いて巡回をすることになりました。
それにしてもガーディアンの長い歴史（まもなく17年目）の中で初めてのことである。新型コロナウィルスは我々のボランティア活動を阻害するものであり、いい迷惑である。

（テツ＆ゴン）

5） 大磯警察より

＊今月、ついにオレオレ詐欺被害が1件（120万円）発生してしまいました。息子を語っての被害で何回も警察から注意をしているにもかかわらず、起こってしまい残念としか言いようがありません。

6）編集部より

＊「新型コロナウィルス」感染症の蔓延による予防のためにガーディアン始まって以来初めてのことですが、行政の指導もあり大勢が集まるイベントはすべて中止、又は延期という事からガーディアンの総会と27日の交番の日の合同パトロールは中止になりました。

挨拶で犯罪なくそう石神台

石神台ホームページ

https://ishigamidai.com　海の見える街　大磯町石神台　検索

大磯警察　生沢駐在所だより（ふれあいパトロールたかとり）は：

http://www.police.pref.kanagawa.jp/ps/69ps/69pic/69004_12.pdf

7）番外・付録・おまけ…『兼高かおるさんのこと』

この月報の読者のほとんどは兼高かおるさんをご存知だと思います。去年１月に90歳で亡くなりましたが、文芸春秋の蓋棺録（がいかんろく）に載っていましたので、彼女の業績を偲んで載せてみました。

旅行家の兼高かおる（本名：兼高ローズ）は世界中を訪れる番組を通じて、海外旅行ブームを牽引した。

１958年（昭和33）、スカンジナビア航空の協力により、プロペラ機で73時間9分35秒の世界1周を達成した。この記録は今も破られていない。（というのもジェット機の時代になってしまったからです）

１928年神戸市で生まれる。父はインド人だったという。東京の香蘭女学校を卒業してロスアンジェルスの市立大学に留学した。帰国後、世界1周を企画して記録を打ち立て、時の人として注目された。

59年から『兼高かおる世界の旅』のテレビ放送が始まり、世界中を駆け回る。スタッフは本人も入れて3人でプロデューサー、ディレクター、レポーター、更にナレーターを全て兼任した。

61年からは芥川隆行がホスト役を務める。

初めの頃はぶっつけ本番で1962年にはケネディ大統領の単独インタビューを実現させた。

「キューバ危機の直前でしたが、そんな様子は全く見せず、にこやかに対応してくださいました」。

アフリカの草原や、南極、北極も訪れ、急増しつつあった日本人の海外旅行をリードした。

90年（平成2）に最終回を迎えたが、その間、約150か国を巡り番組は1586回に達した。

独身をとおして「旅と結婚した」と語っていた。「あらゆる可能性を追求して、これしかないとは考えないようにした」。愛用の旅行鞄には、常に英語とフランス語の辞書と世界史の本が入っていた。

（2019年1月5日没、心不全、90歳）

（文芸春秋2019年3月号より）